

K・B 通信

キッチン・バス工業会と会員の皆さんをつなぐ

広めよう

11月2日
は
キッチン・バスの日
!

新春特別号 2020

キッチン・バス工業会 令和2年 賀詞交歓会を開催!

キッチン・バス工業会は、令和2年新年賀詞交歓会を1月9日(木)、東京會館本館(東京・丸の内)にて、盛大に開催いたしました。関係各省庁のご来賓をお招きし、関係団体、会員企業など総勢347名が参加し、新年の門出を祝うとともに今後の業界発展を祈念しました。

林会長(TOTO)のご挨拶に始まり、ご来賓の経済産業省 縄田室長、国土交通省 武井課長より、ご祝辞を頂戴しました。小早川副会長(パナソニック)の乾杯発声により、しばし歓談が行われ、田代社長(富士高分子)の新年景気付けののち、西田理事(和光製作所)の中締めにより、盛況のうちに終了しました。

	目次
賀詞交歓会を開催!1
林会長挨拶2
来賓のご祝辞3
ご挨拶をいただいた方々4
事務局からの新年挨拶4
編集後記4



賀詞交歓会の様子

会長挨拶 「会員交流で市場の活性化、次のステージへつないでいく」

新年、あけましてあめでございます。

昨年を振り返ってみると、新しい天皇陛下となられ、令和へと年号が変わり、活気づいた日本だったと思います。その最中、大きな台風が幾度となく訪れ、水害・災害が発生しました。未だに生活を取り戻せない、たくさんの方々にお見舞い申し上げます。そして一日でも早く元の生活に戻っていただきたいと心より願っております。

9月にはラグビーワールドカップが開催されました。いろいろな国の方々が日本を訪れ、日本の良さを海外にアピールできたと思います。その中で、耳にしたと思いますが「ONE TEAM」という言葉。日本代表にはいろいろな国の選手がいて、それが一つの組織となり一丸となって戦っていた姿を垣間見たのではないかと思います。また試合後のノーサイド。戦ったお互いを称賛するというスポーツマンシップに則った素晴らしいラグビーの美しさを見たと思います。さらにそんな美しい、称賛し合う姿に世界や日本の皆様の中で、にわかファンが増え、感動したのではないかと思います。

今年は2020年、オリンピックイヤーです。ラグビーワールドカップ以上に世界の人々がこの日本、東京に集まり、たくさんの日本文化を知っていたくとも世界との交流が図れる場所になっていくと思っています。このオリンピックで工業会に関わるキッチン、お風呂文化を世界にアピールできたらと思います。

さて、去年は10月に消費税増税がありました。経済産業省、国土交通省の皆様のご尽力により、次世代住宅ポイント制度が施行されましたが、まだまだ制度が十分活用されているとは言えない状況です。残り約3ヶ月弱ですが、令和最初のスタートをこの制度を使って市場を活性化し、業界を盛り上げたいと思いますので是非ともご協力をお願いします。

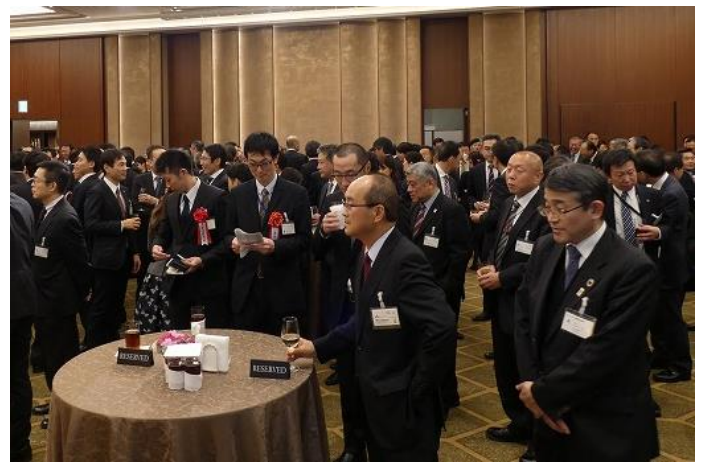
今年は「子の年」です。「子の年」とはたくさん子供たちが生まれる年と言われており、相場では「繁栄」とも言われています。年始早々、中東の関係で相場が下がることから始まり、先が見えないご時世ですが、気候変動や災害も含めて、われわれは起きたときに何をどうやって、どのように動かすか、過去を振り返りながら最小限の被害で最大限の効果を表すような動きを是非ともやっていきたいと思っています。そして工業会を挙げて盛り上げていきたいと思っています。

次のステージに行くためにも今年の目標を立てました。グローバルとこの工業会の皆様方との交流を深めながら市場を活性化していくことです。東京のオリンピック開催時は物流面の影響で売りはできませんが、期間中は東京郊外を活性化し、オリンピック終了後には東京を活性化して、日本の大きな繁栄に結び付けていきたいと思っていますので、今後とも工業会発展、業界発展を含め、よろしく願いいたします。

甚だ簡単ではございますが年頭のご挨拶とさせていただきます。



林会長による新年挨拶



会場の様子



富士高分子 田代社長による新年景気こいこい



来賓のご祝辞

経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室長
 縄田 俊之 様

あけましておめでとうございます。

昨年、自然災害が多数ございました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、生活支援物資の供給に際して産業界の皆様にご尽力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

昨年は元号改正はじめ、消費税増税など大きな出来事が多数ありました。こうした中、我が国の経済は長きに渡り回復が続いており、GDPは過去最大、雇用・所得環境も改善しています。一方では製造業を取り巻く環境も大きく変化しており、デジタル技術による第4次産業革命の大きな波が押し寄せています。これをリスクではなくビジネスチャンスとして捉えていただければと思います。経済産業省としても、研究開発、制度政策、人材育成などで支援させていただきます。

住宅産業に関しては、少子高齢化の中で新設住宅着工戸数は厳しい状況にある中、ユーザーのライフスタイルの多様化を的確に捉えて、デジタル技術活用などで新たな付加価値・サービスを創造していくことが肝要と考えています。また、家庭部門の省エネは重要で、ZEH、ZEH+、レジリエンス性を兼ね備えたZEH+Rや、断熱性能の高い次世代住宅建材を活用したリフォームの支援を関係省庁と連携して推進していきます。加えて、取引適正化(下請け事業者へのしわ寄せ防止)と就職氷河期世代の雇用促進について、引き続きよろしくお願いたします。



経済産業省 縄田様

国土交通省 住宅局 住宅生産課長
 武井 佐代里 様

あけましておめでとうございます。

昨年を振り返ると大きな災害・水害がありました。被害に遭われました方々にお見舞い申し上げます。

昨年の住宅市場に関する大きな出来事として、10月の消費税値上げがありました。国土交通省としては需要平準化を図るために、住宅ローン減税の拡充、住まい給付金の拡充、次世代住宅ポイント制度の創設などに努めているところです。特に次世代住宅ポイント制度の特徴としては、家事負担軽減を行うキッチン設備や浴室乾燥機など、社会のニーズに応じた制度設計をしています。また、災害に鑑み、着工期日を6月までに延長もしておりますので活用をお願いしたいと思います。

需要喚起に関して生活者一人一人の気持ちに届けることが必要であり、そういう中でキッチン・バス工業会の「台所・お風呂の川柳」は非常に効果的なものだと思います。この川柳を読むと、暮らしや家庭に思いを巡らしていらっしゃることが分かります。この取り組みに刺激を受けて、表彰式の折にも所員10名ほどで川柳大会を行ったなかの一位の句「ポイントで 日本の不景気 吹っ飛バス」を披露させていただきましたが、今回のご挨拶でも一句、披露させていただきます。

「年度末 ポイント申請 忘れずに」(会場よりたくさんの笑い)

こういったことを通じながら、皆様方一人一人の気持ちに届くような施策を展開していきたいと思っています。



国土交通省 武井様



賀詞交歓会でご挨拶をいただいた方々



小早川副会長によるご挨拶と乾杯のご発声

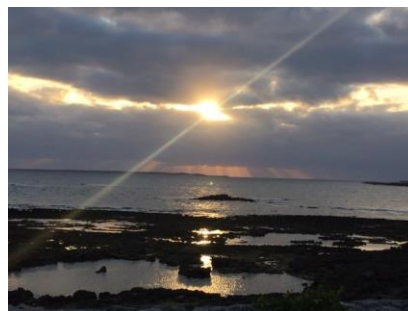


西田理事によるご挨拶と中締め



本年も何卒よろしくお願いいたします

皆様、新年あけましておめでとうございます。
 新天皇のご即位の慶びに沸いた令和元年でしたが、令和2年の元旦も日本各地で比較的穏やかな天候となり、素晴らしい年の始まりを予感させました。
 今夏は、1964年以来56年ぶりに東京を中心とした都市で32回目のオリンピックが開催されます。日本開催ということもあり、幸運にも観戦チケットを手に入れた方、チャンスに恵まれなかった方、悲喜こもごもの前哨戦を経て、いよいよオリンピック・パラリンピック本番が始まろうとしています。
 当工業会事務局も新体制となって初めての新年を迎え、諸先輩の皆様や工業会会員の皆様が築かれた礎を、さらに進化、発展させるために精進する所存です。
 本年もよろしくご指導ご協力のほど、お願い申し上げます。



青空に
 光の如く
 梅一輪

トモ



事務局



越道常務理事



司会の田中部長

編集後記

今年は、なんといっても 東京オリンピック・パラリンピック。
 世界から 日本そして東京が注目される年になります。
 昨年は、ラグビーワールドカップも大変盛り上がり、“ONE TEAM”が流行語大賞になりました。
 キッチン・バス工業会も常務理事交代の節目となった年でした。
 2020年、オリンピックイヤーの今年、前回の東京オリンピックの翌年に発足した当工業会が、“ONE KB工業会”として、さらに発展していく節目の年となるように、広報メンバーも一致団結し活動をしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
 “竹は節目で伸びていく”

塚原 敏夫(パロマ)

新春特別号編集委員

- 発行責任者: 柴崎 和彦(クリナップ)
- 編集長: 松本 賢治(TOTO)
- 編集委員: 井上 知春(ナスラック)
- 大崎 和美(東京ガス)
- 滝川 光紀(積水ホームテクノ)
- 田中 佐知子(三菱ケミカル・クリンスイ)
- 塚原 敏夫(パロマ)
- 中島 宏文(タカスタンダード)
- 中村 覚(TOTO)
- 平川 武(ノーリツ)
- 藤田 東一(LIXIL)
- 越道 昭徳(事務局)
- 田中 朋子(事務局)

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
キッチン・バス工業会

工業会のホームページは情報の宝庫です!

キッチン・バス

検索

発行日:2020.1.22 / 発行責任者:広報専門委員会 委員長 柴崎 和彦

「K・B通信」に関するお問い合わせは下記Eメールへお願いします。

Eメール:kitchen.bath@nifty.com